

地域おこし協力隊 3年目活動報告会資料

「1年間の活動内容及び成果並びに今後の取組について」

地域PR推進員 小林信之

1. 協定書に基づく活動内容

——地域の情報発信と地域資源の掘り起こしなど——

・地域の方との関係づくり

和紙関係者、トロロアオイ生産者や農家さんとの繋がり
小川学との連携

・イベント支援

伝統工芸会館、和紙体験学習センター：楮かしき
七夕祭り：和紙祭り集客、和紙の説明・販売、設営
小川学：榎台中学校トロロアオイ講座調整（講演、ネリ体験）

・会議研修参加

役場・協力隊同士打合せ、総務省研修

・定住定着に向けた活動

トロロアオイをはじめ農業勉強
卒業証書事業の仕組みづくり

・その他

都市農村交流企画

・和紙工支援

卒業証書事業
事務所事故処理対応

2. 成果

・達成目標

卒業証書支援体制強化、定住・就農に向けた基盤づくり

・具体的な成果

卒業証書支援体制強化では、

- ① 協力隊任期後も事業が継続できるように経営改革等を実施中
- ② 職人さんの賃上げ・原料代の補助を実施、及び、効率的な受発注システムの構築
- ③ 関係者で、卒業証書事業目標の共有

定住・就農に向けた基盤づくりでは、

- ① 協力隊任期後の仕事づくり
- ② 農業技術の勉強

3. 課題および今後の取組等

・農業の課題

トロロアオイ生産農家の高齢化、技術の伝承

・卒業証書事業の課題

母体の存続
担い手の育成
紙漉き場の確保
関係者の怪我、高齢化、機械の故障
生産体制のバランス
納品遅れ
新原料での生産
少子化

今後の取組等

・卒業証書支援体制強化

職人さん、和紙関係者、お客様（学校様）と共に、
選ばれ続ける小川和紙に必要なことを考えていく
卒業証書事業のチーム化
卒業証書事業の経営改革

・定住に向けた基盤づくり

新規就農を目指した農業技術の取得

・その他

和紙関係者、農業関係者とのネットワーク強化